

| 分野 | 教育 | 施策 | 生涯学習 | | | |
|-------------|--|---------|-------------|-----------------|-------------|----------------|
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P87 | |
| 施策の展開（大項目） | 1 学び続ける機会づくり | | | | | |
| KPI (指標) | 公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | 82.3% | 84.7% | 86.7% | 90.0% |
| KPI (指標) | 家庭教育学級アンケートにて「今後の暮らしに生かせる」と回答した受講者の割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | 61.8% | 68.6% | R3年度より増加 |
| KPI (指標) | 行政編受講者アンケートにて「非常に満足」と回答した割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 54.0% | 71.4% | 75.0% | 46.7% | R3年度より増加 |
| KPI (指標) | 研修会参加者アンケートにて「学びの場となった」と回答した割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | — | 77.8% | R3年度より増加 |
| KPI (指標) | 歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 113人 | 88人 | 49人 | 55人 | 200人 |
| KPI (指標) | 本市に関連した歴史資料保存数【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 39,000点 | 40,000点 | 41,000点 | 42,000点 | 45,000点 |

| 中項目 | 1 多様な学習機会の充実 | 分野計画参照ページ | P23 |
|-----------------------|--|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度の取組実績 | 分析・考察 | |
| 生涯学習出前講座開催事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・まいどおおきに出勤講座を次のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■行政編 36件（前年度比+28件） ■市民編 13件（前年度比+13件） ■消防署による講座 152件（前年度比+55件） | <ul style="list-style-type: none"> ・防災危機管理課の『みんなの防災』や消防署の『防火防災訓練』等、出前講座のニーズは高いことから、引き続き実施していく。 | |
| 生涯学習推進本部運営事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係者と行政職員を対象に、「国際協力の取り組みと、その後のキャリアについて」をテーマに、生涯学習合同研修会を実施し、20人が参加した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係者と行政職員を対象とし、生涯学習を推進していくための研修会を実施していく。 | |
| 公民館講座開催事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を反映しながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際化」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸術」7分野の講座及び合同講座を実施した。 ・全ての市立公民館での公民館講座実施回数は304回（前年度比+40回）で、受講者は4,047人（前年度比+790人）であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術、人権・福祉に関する講座の受講者が多い傾向にある。 ・引き続き、市民の声を反映しながら、ニーズに合致した講座を開催していく。 | |
| 家庭教育学級事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級事業として（※）6学級（学級生数：62人）が、リトミックやケーキ作り等の学習会を81回開催した。（前年度比+39回） ・親学習リーダー（家庭教育学級など、子育てについての学び合いの場において、進行役となる人）に府研修会等の情報を提供した。 <p>（※）子どもを持つ親や夫婦、地域の女性等、大人の学びの場として開設する学級</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、学習会の開催回数が増加した。引き続き、学習会を開催することで子育てについての学びの機会を提供していく。 | |
| 文化財保護事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化財を適切に保護するとともに、摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を開催し、55人（前年度比+6人）が参加した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化財関連資料の収集・整理・保存を進めるとともに、活用を図り、郷土摂津に対する市民の学びを高めるため、引き続き「ふるさと摂津講座」を実施する。 | |
| 摂津市史編さん事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、累計42,000点の保存を終えた。 ・『新修摂津市史 近世 近代編』第2巻を刊行した。 ・令和6年度刊行に向け、『新修摂津市史 現代 民俗編』第3巻の執筆作業を進めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に活用されるよう、これまで保存した史料の公開に向け準備を進める必要がある。 ・市の各種計画や起案された文書のうち、歴史史料として保存すべき文書を選別・収集し、保存する仕組みを作り上げる必要がある。 | |

| 分野 | 教育 | 施策 | 生涯学習 | | | |
|-------------|--|---------|-------------|-----------------|-------------|----------------|
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P87 | |
| 施策の展開（大項目） | 2 学びを支える環境づくり | | | | | |
| KPI (指標) | 図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | 85.7% | 87.2% | 90.0% |
| KPI (指標) | 公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | 82.3% | 84.7% | 86.7% | 90.0% |
| KPI (指標) | 子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 27.4% | 25.2% | 23.9% | 22.9% | R元年度より増加 |
| KPI (指標) | 生涯学習フェスティバル参加団体アンケートで「活動の成果を発揮できた」と回答した割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | 92.3% | — | R3年度より増加 |
| KPI (指標) | こどもフェスティバル参加者数【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 13,000人 | — | — | — | R元年度より増加 |

| 中項目 | 1 学習効果の発表・活躍の場の充実 | 分野計画参照ページ | P25 |
|--------------------------|--|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度の取組実績 | 分析・考察 | |
| 生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、「生涯学習市民のつどい」を中止した。 「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」は、台風接近に伴う天候不良を考慮し中止した。 | <ul style="list-style-type: none"> 参加団体の日頃の活動成果の発表の機会として、生涯学習フェスティバルを開催する。 | |
| 公民館まつり事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、新鳥飼公民館のみの開催となった。中止になった公民館においては、代替の取組として、作品展示やスライドショー、動画の放映を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 全ての公民館において実施できるよう、実行委員会や関連団体と連携し、まつりの内容を調整していく必要がある。 | |
| こどもフェスティバル開催事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、準備期間や参加者の安全を考慮し、実行委員会の判断により中止とした。 | <ul style="list-style-type: none"> 参加団体の活動成果や交流の機会を創造するとともに、来場するこども達の健やかな成長と親子のふれあいを深める場を提供することもフェスティバルを開催する。 | |

| 中項目 | 2 社会教育施設の活用 ※一部、「子ども読書活動推進計画」の内容を含む | 分野計画参照ページ | P25 |
|----------------------------------|---|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度の取組実績 | 分析・考察 | |
| 公民館運営事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 安威川公民館を除く市立公民館で図書の入替作業及び新規購入を行い、計11,390冊（前年度比+1,171冊）の図書を貸し出した。 公民館の利用件数は、次のとおりであった。 ■安威川公民館 2,430件（前年度比+1,140件） ■千里丘公民館 1,410件（前年度比+374件） ■新鳥飼公民館 2,120件（前年度比+270件） ■味生公民館 1,044件（前年度比+251件） ■鳥飼東公民館 1,232件（前年度比+326件） すべての市立公民館でモバイルWi-Fiルーターの無料貸出を開始した。 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は貸館が停止していた期間があったため、令和3年度に比べ令和4年度は利用件数が各館増加しており、安威川公民館については、令和3年度は外壁等改修工事による閉館の期間もあったため令和3年度に比べ令和4年度は大幅に増加している。 今後も入替や新規購入を行い、図書の充実を図るとともに、安全安心な公民館施設の環境づくりを進める。 | |
| 公民館講座開催事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の声を反映しながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際化」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸術」7分野における講座及び合同講座を実施した。全ての市立公民館での公民館講座実施回数は304回（前年度比+40回）で、受講者は4,047人（前年度比+790人）であった。 | <ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術、人権・福祉に関する講座の受講者が多い傾向にある。 引き続き、市民の声を反映しながら、ニーズに合致した講座を開催していく。 | |
| 図書館運営事業 鳥飼図書センター運営事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 図書の貸出冊数は次のとおりであった。 ■市民図書館 273,166冊（前年度比+25,845冊） ■鳥飼図書センター 61,773冊（前年度比+4,030冊） 図書館にすることができない環境でも読書ができるよう、7月に電子図書館を開設した。令和4年7月から令和5年3月の電子図書館利用冊数は4,294冊、月平均は477冊であった。 市立図書館及び鳥飼図書センターにWi-Fi環境を整備した。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、図書館の有効活用と図書館サービスの充実に向けた取組の実施が必要である。 図書館の開館時間に来館が難しい年代や、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けた資料など電子図書そのニーズに合致した電子図書館コンテンツの購入を進める。 | |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>子ども読書活動推進事業 生涯学習課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を110回（前年度比+27回）実施し、延べ749人（前年度比+309人）が参加した。 ・ぬいぐるみお泊り会を開催し、計17人（前年度比-17人）が参加した。 ・「本の福袋」を両館で計4回実施し、140袋（前年度比+34袋）を貸し出した。 ・電子図書館の開設に合わせ、図書貸出券の新規登録の案内を市内の全児童生徒に配布した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登録率増加を目指し、図書館と学校が図書館資料の定期配達等で連携し取組を実施していく必要がある。 |
| <p>母子健康診査事業 出産育児課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診時に、ブックスタート事業として、絵本を紹介するとともに、受診者に1冊ずつ配付した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳児の感性を育むため、引き続き、ブックスタート事業を実施する。 ・絵本の配付だけでなく、様々な制度やつどいの広場の案内等、地域資源をより一層を周知していく必要がある。 |
| <p>地域子育て支援拠点事業 出産育児課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター・かるがも広場の利用者に絵本を貸し出した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、絵本の読み聞かせ等、乳幼児期から本に触れられる機会を設ける。 |
| <p>市立児童センター運営事業 子育て支援課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・宿題や読書を希望する児童に対して図書室を開放した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを把握するとともに、より多くの方に参加いただけるよう児童センターの取り組みなどをSNSなどを活用して情報発信していく。 |
| <p>認定こども園管理運営事業 こども教育課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上の園児が市民図書館を利用したほか、市民図書館及び図書センターからリサイクルブックの寄贈を受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本は、子どもの認知能力及び非認知能力の両方を育てる大切なツールであることから、引き続き図書館との連携を進めていくことで、園児が本に触れる機会を維持していく必要がある。 |
| <p>学校読書活動推進事業 学校教育課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校読書活動推進サポーターと市立図書館職員が図書担当者会議を年2回行い、図書貸し出しの活性化や電子図書館の仕組み、読書が苦手な児童生徒への支援等について話し合った。 ・新刊の平置きや、注目度の高い作品のポップ作成等、学校図書館の環境を整え、児童生徒が本と出会う機会を増やすとともに、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーターを全小学校に配置した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き読書活動推進サポーターと市立図書館との連携により、出前授業やビブリオバトルなどを企画し、興味深く親しみやすい学校図書館となるよう整備していく。 |
| <p>男女共同参画センター管理事業 人権女性政策課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターで、男女共同参画に関連する学習資料の書籍・DVDの貸出を行い、延べ691人が利用した。 ・男女共同参画社会に向け、新たに図書78冊とDVD1本を配架し、図書1,686冊（前年度比+170冊）、DVD18本（前年度比-6本）を貸し出した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男女共同参画を推し進める当センターが市民に広く提供したい書籍のPRを行う。 |

| | | | | | |
|--------|----------|----|------|-----------------|-----|
| 分野 | 教育 | 施策 | 生涯学習 | | |
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P87 |

| | | | | | | |
|-------------|---|--------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 施策の展開（大項目） | 3 学びを活かす人づくり | | | | | |
| KPI (指標) | 青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「体験学習を通じて学んだことを友人や家族に教えたい、活かしたいと思う」と答えた割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | — | 90.0% | R3年度より増加 |
| KPI (指標) | 淀川わいわいガヤガヤ祭の来場者数【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 6,500人 | — | — | 9,000人 | R元年度より増加 |
| KPI (指標) | 生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」「今後、地域や社会活動に役立てたい」と回答した割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | — | — | 100% | 91.7% | R3年度より増加 |

| | | | | | |
|----------------------|---|--|--|--|-----|
| 中項目 | 1 多様な主体による指導者の育成 | | | 分野計画参照ページ | P27 |
| 関連する主な事業 | 令和4年度の取組実績 | | | 分析・考察 | |
| 青少年リーダー養成事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学生を対象に、グループ活動を通して自主性・積極性・創造性を身につけてもらい、地域で活動するリーダーを養成するため、チャレンジャークラブを夏冬2回実施した。 冒険プログラム講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 参加した児童から「学んだことを活かしたい」という声が多くあり、青少年リーダーの育成につなげることができたものとする。 | |
| 青少年団体育成事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> こども会育成協議会、ガールスカウト、ボーイスカウト等、地域で主体的に活動する団体の取組について支援を行った。各団体が行う市単位の活動は子どもたちが異なる学年や校区と交流する機会に繋がり、また保護者、指導者にとっても交流や情報交換の場となった。 「淀川わいわいガヤガヤ祭」が開催された。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全な成長を目指して、地域で主体的に活動する団体（淀川わいわいガヤガヤ祭・ボーイスカウト・ガールスカウト・こども会）への活動を支援していく。 | |
| せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> せつつ生涯学習大学を全12回開催し、11人（前年度比+6人）が受講するとともに、単発受講で計14人（前年度比-3人）が受講した。 せつつ生涯学習大学院（前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）を全3回開催し、4人が受講した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 受講者数がコロナ禍以前に戻りつつあり、引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供に向け、生涯学習大学を開催する。 | |

| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | | | |
|---------------------|--|-----------------|-------------|---|-----------------|-----------------|
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 | |
| 施策の展開（大項目） | 1 豊かな心を育む教育 | | | | | |
| KPI (指標) | 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童生徒(割合)の対全国比 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 小学校0.91 中学校0.94 | — | 小学校0.98 中学校0.98 | 小学校0.97 中学校0.97 | 小学校1.00 中学校1.00 |
| KPI (指標) | 「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 68.2% | — | 69.5% | 74.7% | 77.7% |
| 中項目 | 1 道徳教育の推進 | | | 分野計画参照ページ | P11 | |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | | 分析・考察 | | |
| 研修事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招き、授業づくりについての研修を行った。その研修を踏まえ、道徳教育推進教師が自校にて伝達講習として研究授業を実施した。 各小中学校の道徳教育推進を担当する教員に対して、道徳の授業づくりに関する実践的な研修を5回実施した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 教員の指導力を向上させ、日々の様々な学校生活の場面で児童生徒が自己肯定感を高められるよう、引き続き教員への研修等の支援が必要である。 | | |
| 中項目 | 2 人権教育の推進 | | | 分野計画参照ページ | P11 | |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | | 分析・考察 | | |
| 人権教育推進事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 大学教授や同和教育推進校の指導教諭を講師として招き、市内小中学校の教員を対象とした同和教育に関する研修をそれぞれ1回実施した。 人権教育担当者会において、学校教育と関連付けて、系統的・効果的な人権教育が中学校区で連携して実施されるよう交流やカリキュラム検討を行った。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 同和教育推進校の講師から指導実践を学んだ教員のアンケートには、同和問題への知識不足への反省やもっと学ばなければならないという声が多くみられた。 引き続き、教職員の人権意識及び指導力向上のため、人権教育に関する教職員研修会を実施する。 | | |
| 国際理解教育推進事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 小中学校に国際理解社会人講師を14人派遣し、多文化共生及び国際理解に関する授業を実施した。 摂津市国際交流協会や大阪大学国際交流センターと連携し、留学生を学校に派遣し、交流会を実施した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 諸外国の言葉や食生活、生活習慣等について学んだ児童・生徒のアンケートには、自分と他者の違いを認め、違いを豊かさとして受けとめることの大切さへの気づきが多くみられた。 今後海外から渡日する児童生徒のさらなる増加が見込まれる。引き続き、多文化共生及び国際理解教育の推進のため、小中学校への国際理解社会人講師や留学生の派遣を実施する。 | | |

| | | |
|----------------------------|--|---|
| <p>日本語指導教育事業 学校教育課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を母語とする児童生徒に対する学習保障及びアイデンティティの育成に向け、日本語指導講師13人が、外国語を母語とする51人の児童生徒に、日本語習得のため指導を行うとともに、保護者への言語支援を行った。 ・自動翻訳機を3台配備し、小中学校において支援が必要な児童生徒やその保護者への通訳支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導講師が対象児童生徒やその保護者と母語でコミュニケーションをとることで、安心して通学させられるという声をいただいた。 ・自動翻訳機の配備により、日本語指導講師が対応できない言語への対応や派遣時間外の学習支援が可能となった。 ・引き続き、日本語指導講師の派遣とAI翻訳機の配備による支援を行う。 |
|----------------------------|--|---|

| 中項目 | 3 読書活動の推進 | | 分野計画参照ページ | P11 |
|-----------------------------|---|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| <p>学校読書活動推進事業 学校教育課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校読書活動推進サポーターと市立図書館職員が図書担当者会議を年2回行い、図書貸出しの活性化や電子図書館の仕組み、読書が苦手な児童生徒への支援等について話し合った。 ・新刊の平置きや、注目度の高い作品のポップ作成等、学校図書館の環境を整え、児童生徒が本と出会う機会を増やすとともに、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーターを全小学校に配置した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き読書活動推進サポーターと市立図書館との連携により、出前授業やビブリオバトルなどを企画し、興味深く親しみやすい学校図書館となるよう整備していく。 | | |
| <p>小中学校管理運営事業 教育政策課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校15校で約5,300冊の図書を新規購入するとともに、約700冊の寄贈を受けた。 ・状態が劣化した図書を約1,600冊廃棄した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新たな図書の購入、状態が劣化した図書の廃棄や更新等を行い、学校図書館整備の充実を図る。 | | |

| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|-------------|--|-----------------|-----------------|
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 | |
| 施策の展開（大項目） | 2 確かな学力を育む教育 | | | | | |
| KPI (指標) | 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 小学校0.91 中学校0.93 | — | 小学校0.97 中学校0.95 | 小学校1.00 中学校0.92 | 小学校1.00 中学校1.00 |
| KPI (指標) | 「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 63.6% | — | 72.2% | 75.7% | 73.5% |
| 中項目 | 1 授業改善の推進 | | | 分野計画参照ページ | P13 | |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | | 分析・考察 | | |
| 学力向上推進事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校において、学力向上プランを作成し、学習規律や主体的な学びなど、それぞれの学習課題に正対した学力向上の取組を実施した。 全国学力・学習状況調査、摂津市学力定着度調査及び中学校チャレンジテスト等の結果に基づき、小中学校における校内研修や学校間の相互授業参観等の取組を支援した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の小学校算数の平均正答率が、初めて全国平均を上回った。中学校チャレンジテストにおいても平均正答率が同一学年で経年比較すると向上している。 全国学力・学習状況調査の小学校理科が全国平均を下回った。また、中学校チャレンジテストでは、数学及び英語が府平均を下回った。 引き続き、市教委が学校訪問でのヒアリングを通して進捗状況を確認し、指導助言を行うことで、各校の学力向上プランが計画的に進められるよう支援する。 学校における児童生徒の学習意欲向上に向けた組織的な授業改善の取組支援が必要である。 | | |
| 学校マネジメント支援事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 研究重点校として位置づけた5小中学校（千里丘小・味生小・別府小・鳥飼西小・第三中）における研究授業及び研究協議や市内全小中学校で実施する研究発表会への講師派遣等を支援した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 教員が主体的及び協働的に授業改善に取り組む必要がある。 引き続き、教職員の授業研究に対する意識向上のため、市内全小中学校における研究発表会等を支援する。 | | |
| 小学校中学校教育用コンピューター事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 全小中学校の特別教室や体育館等に無線LANを整備した。 ICT教育推進リーダー教員を中心に授業におけるICT活用の先進的事例を各小中学校に周知した。 オンライン配信用のiPadを5台追加配備した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 体育や音楽等普通教室以外での授業において、ICTを活用した授業が可能となった。 教室の授業等をオンラインで家庭に配信し、登校できない児童生徒の授業参加やクラスメイトとのコミュニケーションが可能となった。 引き続き、ICTを活用した授業を支援するとともに教職員に対する研修を実施する。 | | |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 研修事業 教育支援課 | ・新学習指導要領への対応や学校経営、授業づくり等、教職員の資質向上に向けたサマーセミナーを5回(前年度比±0回)開催した。 | ・引き続き実践的な力を育成できる研修を進めていく。 ・ミドルリーダー育成のため、指導教諭等、各校で人材育成の核となる教員に焦点化した研修を進める。 |
| 学校教育相談員配置事業 教育支援課 | ・経験の浅い教職員の資質向上をはじめ、授業力・学級経営力の向上や生徒指導等、学校における諸課題への指導助言を行うため、学校教育相談員2人と教育指導嘱託員1人が巡回指導や拠点校指導を行った。 | ・令和4年度は12人の初任者が配置されており、経験の浅い教員が増加している。引き続き、学校教育相談員等による指導等を行うことで、各校での人材育成を支援する。 |

| 中項目 | 2 学習内容・学習習慣の定着 | | 分野計画参照ページ | P13 |
|-----------------------|---|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 学力向上推進事業 学校教育課 | ・摂津SUNSUN塾に小学校6年生74人、中学生113人が申込み、既習内容の復習を中心に学習した。 ・小中学校が連携し、中学校のテスト期間中に児童生徒自らが学習計画を立て自主的な学習を実施する家庭学習ウィークを設定し、学習習慣の定着を推進した。 | ・摂津SUNSUN塾に通う児童生徒について、平日及び休日に1日当たり1時間以上勉強している人数は、令和4年6月と令和5年2月を比較すると1.26倍に増加した。 ・引き続き、摂津SUNSUN塾及び家庭学習ウィークの実施等により学校外での学習を推進するため施策を継続する。 | | |
| 学校マネジメント支援事業 学校教育課 | ・市内全小中学校に学習サポーターを延べ105人派遣し、児童生徒一人ひとりの課題に応じて学習活動を支援した。 | ・引き続き、学習サポーターを派遣し、個別対応を必要とする児童生徒に支援をしていく。 | | |

| 中項目 | 3 就学前教育・小中一貫教育の推進 | | 分野計画参照ページ | P13 |
|---------------------|---|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 就学前教育推進事業 こども教育課 | ・「就学前教育実践の手引き」を改訂し、新たに「就学前教育・保育実践の手引き」を策定した。 ・保育教諭・小学校教員等を対象とした保幼小合同研修会を4回(前年度比+2回)実施した。 ・小学校及び私立園を訪問し、就学前教育に関する意見交換を行った。 | ・新たに策定した「就学前教育・保育実践の手引き」に基づいた教育・保育が市内で行われるよう、研修等を通じて啓発を行う必要があるため、令和5年度は研修の回数を増やす。また、若手保育教諭・保育士を対象とした研修を実施する。 ・就学前施設から小学校へのスムーズな移行が重要な課題となっているため、就学前施設職員と小学校教諭とで意見交換を行い、認識を共有する必要がある。 | | |
| キャリア教育推進事業 学校教育課 | ・キャリア教育推進委員会を年間8回開催した。文部科学省の調査官による研修を実施し、教員に対してキャリア教育の捉え方や児童生徒との日々の関わり方(キャリアカウンセリング)を伝えた。 | ・引き続き、中学校区ごとに9年間を見通して一貫した取組ができるよう定期的に協議することで、各中学校区の課題に応じた指導計画を策定し、キャリア教育を充実させる。 | | |

| | | | | |
|--------|----------|----|-----------------|-----|
| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | |
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 |

| | | | | | | |
|-------------|--|------------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 施策の展開（大項目） | 3 健やかな体を育む教育 | | | | | |
| KPI (指標) | 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の体力合計平均点の対全国比 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 小中学校男0.96 小中学校女0.94 | — | 小中学校男0.94 小中学校女0.94 | 小中学校男0.96 小中学校女0.96 | 小中学校男1.00 小中学校女1.00 |
| KPI (指標) | 全国体力・運動能力・運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2・男女別）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 男67.0% 女45.8% | — | 男59.8% 女46.5% | 男61.3% 女48.2% | 男69.5% 女51.2% |

| | | | | |
|-------------------|---|--|--|-----|
| 中項目 | 1 運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着 | | 分野計画参照ページ | P15 |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 小中学校給食事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・えいようだよりや学校給食通信を定期的に発行するとともに、給食の新献立・共通献立等を実施した。 ・児童自らが植え付け、収穫した食材を給食で提供した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の食事についての理解を深め、栄養についての関心を高めるため、引き続き各種取組を実施する。 | |
| 教育課程研究事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査の結果から実態把握や分析を行った ・教育センター職員による巡回を通じて、児童生徒の運動意欲の興味関心及び体力向上に向けた取組について、体育担当教員に指導・助言を行った。 ・小中学校に対し、食に関する取組状況を確認した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で運動に親しむ雰囲気醸成するとともに、児童生徒の自発的な運動を促す取組が必要である。 ・担当者会での体力向上、運動習慣や生活習慣の改善に関する好事例の共有や指導主事による学校訪問等を行い、子どもたちの運動への興味関心の向上を図る。 ・小中学校における食育推進のため、自分たちが住む地域の食文化の理解を深める活動に取り組む。 | |

| 中項目 | 2 学校体育と部活動の推進 | | 分野計画参照ページ | P15 |
|---------------------|---|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 教育課程研究事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から実態把握や分析を行うとともに、その結果を基に各学校が作成する体力づくり推進計画（アクションプラン）に指導助言を行った。 ・体育担当会の実施や教育センター職員の巡回を通じて各校へ体育の授業力向上のための指導助言を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査質問紙調査「体育（保健体育）の授業が楽しい」と肯定的回答をする児童生徒の割合が全国平均を下回った。児童生徒が成功体験の積み重ねができるような授業づくりの推進が必要である。 ・引き続き、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から実態把握や分析を行い、子どもたちの体力向上に向けた授業改善を行う。 ・小中連携による子どもたちの体力向上に向けた授業改善の取組を推進する。 | | |
| 学校部活動等助成事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動に対して財政的な支援を行うとともに、校長会・教頭会にて部活動ガイドラインに基づく生徒の健康や安全、体罰禁止等への配慮について継続的に啓発を行った。 ・市内中学校へ、部活動指導員6人（前年度比+1人）を派遣した。 ・部活動の地域移行に向けて、庁内の関係課と準備委員会を立ち上げた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な指導により、生徒の技術向上及び安全な活動につながっているため、引き続き部活動指導員を派遣する。 ・生徒が取り組みたい部活動が自校に無い場合の対応として、拠点校方式を取り入れる必要がある。 ・部活動地域移行に向けて関係課と連携し、今後の方針を検討する必要がある。 | | |

| | | | | |
|--------|----------|----|-----------------|-----|
| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | |
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 |

| | | | | | | |
|-------------|--|-------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 施策の展開（大項目） | 4 社会を生き抜く力を育む教育 | | | | | |
| KPI (指標) | 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 70.4% | — | 67.2% | 70.0% | 74.7% |

| | | | | |
|-----------------------------|---|---|-----------|-----|
| 中項目 | 1 新たな教育の推進 | | 分野計画参照ページ | P17 |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 英語教育推進事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動支援員を小学校全校に派遣し、教員の授業づくりへの助言や支援を行うとともに、外国語活動及び外国語の授業づくりのための研修を実施した。 ・中学3年生を対象とした英検検定料の全額補助を行い、結果は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■受験者：593人中231人（39.0%） ■4級合格：24人（前年度比+4人） ■3級合格：44人（前年度比-39人） ■準2級合格：13人（前年度比-6人） ■2級合格：2人（前年度比-10人） ・各小学校でEnglish Dayを1日実施し、市内に配置のALT5名を1校に集め、英語に親しむ機会を設けた。生きた英語によるコミュニケーションを通じ、リスニング能力の向上に取り組んだ。 <p>※ALT(Assistant Language Teacher):英語を母語とする外国人を中学校区に1名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした英語教育に関するアンケート「英語を話せるようになりたい」で肯定的回答をした児童の割合が82.4%であった。子どもたちの英語に対する興味関心を高めるため、外国語活動の授業等のさらなる充実が必要である。 ・小中学校の英語の授業を充実させるために、教職員の授業力の向上を図るとともに、引き続きEnglish Day等をとおして、児童生徒が英語に触れる機会を提供していく。 | | |
| 小学校中学校教育用コンピューター事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校に対し、児童生徒のプログラミング的思考を育むためのカリキュラム作成を支援した。 ・全小学校にプログラミングロボット教材を導入し、教材を活用したプログラミング教育に関する研修会を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育の実施が必要である。 ・研修会の開催等引き続きプログラミング教材の効果的な活用について指導助言を行う。 | | |
| 教育課程研究事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生の国語の単元『もしものときにそなえよう』において、児童が避難所での生活について考えたり、防災リュックの中身について話し合ったりした。また、防災危機管理課の出前授業を受け、避難所生活の一部を体験した。 ・中学校の校舎を活用し、中学生と未就学の子どもたちが合同で垂直避難の訓練を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災リュックの中身を話し合う中で、児童が避難所での生活を想像し、次第に娯楽よりも衣・食を優先しようとする姿が見られた。 ・中学生が未就学の子どもたちの手を取り誘導する中で、年長者としての自覚を高めるとともに、避難する際の危険箇所への気づきを与えることができた。 ・引き続き、児童・生徒の意識高揚及び理解促進に向け、防災教育の実践を重ねていく。 | | |

| | | |
|--------------------------------|---|---|
| <p>キャリア教育推進事業</p> <p>学校教育課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進委員会において、各校のキャリア教育推進委員が自校の取組みを発表し交流した。 ・中学校職種体験プログラムへの協力企業を紹介する等の支援を行った。 ・令和3年度～令和4年度の職種体験プログラムを中心とした摂津市教育委員会の取組みが文部科学省に認められ、文部科学大臣表彰を受賞した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体でのキャリア活動の推進に取り組む必要がある。 ・教職員のキャリア教育に関する正しい理解を深めるため研修会等を実施する。 |
|--------------------------------|---|---|

| | | | | |
|--------|----------|----|-----------------|-----|
| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | |
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 |

| | | | | | | |
|-------------|--|-----------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 施策の展開（大項目） | 5 とともに学び育つ教育 | | | | | |
| KPI (指標) | 「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒(割合)の対全国比 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 小学校0.89 中学校0.95 | — | 小学校0.80 中学校1.00 | 小学校0.93 中学校0.99 | 小学校1.00 中学校1.00 |
| KPI (指標) | 「学級みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」と肯定的回答をした児童生徒の割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 74.7% | — | — | — | 83.5% |

| | | | | |
|---------------------|--|--|--|-----|
| 中項目 | 1 支援教育の推進 | | 分野計画参照ページ | P19 |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 特別支援教育推進事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の児童生徒理解やアセスメント力、個に応じた適切な指導を実践する力を向上させるため、特別支援教育推進員を小中学校に52回派遣し助言した。 ・特別支援教育に対する保護者の理解を深めるため、「就学相談リフレット」を作成し配付した。 ・補聴援助システム「ロジャー」を活用し、補聴器を使用する児童の学校における自立活動を支援した。 ・支援学級における支援教育の充実のため、府立支援学校と連携し、研修や巡回相談等を実施した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級の担任にも特別支援教育の視点を持った指導力を備えることが大切である。市教育センター指導主事等の研修や巡回相談による助言を通して、教職員の専門性や指導力の向上を図る。 ・就学前後の切れ目のない支援を図るため、「摂津市特別支援教育ガイドライン」に基づく取組等を就学前施設等の関係機関と共有する。 ・「ロジャー」を活用することで対象児童から「教員の話聞き逃すことなく学習できるようになった」等の意見があり、有効性は高いと考えられる。 ・引き続き、三島地区内の府立支援学校との連携強化に努め、支援教育の充実を図る。 | |

| 中項目 | 2 相談体制の充実 | | 分野計画参照ページ | P19 |
|-------------------|---|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 教育相談事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の学校生活や子育て等に関する相談2,508件（前年度比+360件）に対応した。また、生徒指導に関する校内委員会に参加し、いじめ、不登校及び問題行動等の事案における児童や保護者を支援した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーへの相談は、「不登校」や「心に関すること等」に関することが多い傾向にある。 ・引き続き、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行っていく必要がある。 | | |
| 就学児指導事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学に向け、不安を感じる保護者からの就学相談87件（前年度比-14件）に対応した。 ・教育支援会議を155件（前年度比+29件）開催し、教育関係者や福祉関係者、医師等の委員から適切な就学先決定や支援内容について助言を受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援学級や通級指導教室など、児童生徒に応じた適切な学びの場について悩まれている保護者が多い。 ・引き続き、児童生徒にとって適切な学びの場が選択されるよう就学相談等に取り組む。 | | |
| 進路選択支援事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路選択の支援として、教育センターパンフレット及び奨学金制度案内を作成し、中学2・3年生に配付した。 ・奨学金制度の問い合わせ及び進学資金の相談計28件（前年度比-13件）に対応した。 ・中学校で実施される進路説明会において、各校で2回、出張相談会を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、進路選択に関して必要な情報を保護者や生徒に周知するよう努める。 | | |

| 中項目 | 3 生徒指導の充実 | | 分野計画参照ページ | P19 |
|---------------------|--|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 生徒指導体制推進事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区に1人、計5人のスクールソーシャルワーカー（SSW）を週4日配置し、計226件（前年度比-179件）のケース会議を支援した。 ・教職員を対象とした生徒指導事案に対する資質及び能力向上を図る研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校が抱える課題要因が多岐にわたるとともに、困難課題が増加傾向にあり、学校だけでは対応できない事案も生起している。引き続き、弁護士やスクールカウンセラー等の多職種連携を進めるとともに、家庭、学校及び家庭児童相談課等の関係機関との連携を強化し、支援を必要としている家庭と福祉サービスをつなげていく。 ・生徒指導事案に対し組織的な対応が必要であるため、引き続き教職員対象の研修会を実施する。 | | |
| 教育相談事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の学校生活や子育て等に関する相談2,508件（前年度比+360件）に対応した。また、生徒指導に関する校内委員会に参加し、いじめ、不登校及び問題行動等の事案における児童や保護者を支援した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーへの相談は、「不登校」や「心に関すること等」に関することが多い傾向にある。 ・引き続き、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行っていく必要がある。 | | |
| 適応指導教室事業 教育支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な要因によって登校しづらくなった児童生徒20名を、再登校や社会に出ることを目標として適応指導教室で支援し、7名が進学するとともに、令和5年4月からは3名が毎日学校に登校できるようになり、他の10名についても、学校に通える日が増加するなど改善が見られた。 ・適応指導教室に通室する児童生徒に対し、教育指導嘱託員や学生などの有償ボランティアであるさわやかフレンドが学習支援を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室でのソーシャルスキルトレーニングや学習支援が、再登校や進学の一因となったと考えられる。 ・不登校児童生徒に対する自立支援拠点の充実が必要である。 ・引き続き、再登校等のそれぞれの児童生徒にとって適切な目標に向け、支援を行っていく。 ・学校復帰のためには、所属校の教員との連携が必須である。児童生徒の状況や対応についてきめ細やかに共有を行う。 | | |

| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | | | |
|---------------------------------------|---|-----|--------------|--|-------------|----------------|
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 | |
| 施策の展開（大項目） | 6 安全安心で快適な教育環境づくり | | | | | |
| KPI （指標） | 保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 （令和7年度） |
| | 増加 | — | —（アンケート実施なし） | 87.0% | 86.4% | R3実績値より増加 |
| 中項目 | 1 教育施設の整備 | | | 分野計画参照ページ | P31 | |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | | 分析・考察 | | |
| 小中学校施設改修事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼北小学校及び第三中学校の体育館へ空調設備を導入した。 ・味舌・鳥飼小学校及び第四中学校の体育館への空調設備導入に係る実施設計を行った。 ・千里丘小学校の建替えに向け、基本設計を作成するとともに、実施設計に取り掛かった。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度を目的に全小中学校（千里丘小を除く）の体育館へのエアコン設置完了に向け、設置工事、実施設計を計画的に行う。 ・千里丘小学校の建替えに際し、仮設校舎設置時の給食や普通教室の確保などに対処していく必要がある。 ・計画的な修繕を行う等、予防修繕の実施について検討する必要がある。 | | |
| 小中学校施設運営事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼・鳥飼西・鳥飼北・鳥飼東小学校及び第5中学校の照明器具をLED化した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・リース方式によるLED化の導入についての検証を行い、令和5年度の発注仕様の改善等を検討する必要がある。 | | |
| 小中学校通学区域等事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・摂津市立小中学校通学区域等審議会に「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置の検討について」諮問し、計4回にわたる審議会（分科会を含む）での議論の末、令和5年2月14日に答申を受けた。 ・計2回の地域住民との意見交換会、鳥飼地域の児童・生徒・未就学児の保護者を対象としたアンケート調査（回答数632件）を実施した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・答申の内容を踏まえ、教育委員会としての考えをとりまとめる必要がある。 | | |
| 図書館施設管理事業 鳥飼図書館センター施設管理事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼図書館センター階段塩ビシートの貼り替え工事を実施した。 ・鳥飼図書館センターの館内照明（部分）をLED化した。 ・市民図書館のエレベーター改修工事を実施した。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設点検の結果を踏まえ、安全安心な読書環境づくりを進める。 | | |

| 中項目 | 2 感染症の予防・対策 | | 分野計画参照ページ | P31 |
|-----------------------|---|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 小中学校保健事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の公立幼稚園及び小中学校において、「学校欠席者情報収集システム」を用い情報集約し、集約した感染症情報を各校に発信した。 学校における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策として、消耗品等を配布した。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き「学校欠席者情報収集システム」を活用した情報集約及び感染症情報を発信する。 学校内での感染症の拡大防止を図るため、各校の状況に応じて必要な感染症対策備品・消耗品を整備する。 | | |
| 小中学校施設運営事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、業者によるトイレ清掃を週1回全小中学校で実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 業者によるトイレ清掃は令和4年度で廃止とするが、引き続き感染症予防及び快適なトイレ環境維持のため、学校側での定期的な清掃が必要である。 | | |
| 学校マネジメント支援事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> 全小中学校にスクールサポーターを配置し、各校における換気や検温、トイレ清掃の補助等を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> スクールサポーターと教職員の協働により、学校内の消毒作業を丁寧に実施していくなど感染症対策を実施し、新型コロナウイルス感染予防に資することができた。 | | |

| 中項目 | 3 学校給食の安全衛生管理 | | 分野計画参照ページ | P31 |
|------------------|--|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 小学校給食事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 各小学校に調理室内で視聴できる衛生管理に関する動画を共有した。また、抜き打ちで各調理場ふき取り検査を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理の徹底に取り組む。 | | |
| 中学校給食事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性向上のため、1回の予約で卒業まで自動的に予約ができる「ずっと予約」のサービスを開始した。 全員喫食に向けた給食センターの設置について、候補地等の検討、他市視察及び住民への説明を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度末の喫食率は6.8%（前年度比+0.3%）であったが、目標喫食率（10%）との乖離が大きいため、喫食率向上に向けた取組を進める必要がある。 全員喫食の実施に向けた給食センターに関する課題の整理及びスケジュールの見直しが必要である。 | | |

| | | | | |
|--------|----------|----|-----------------|-----|
| 分野 | 教育 | 施策 | 学校教育 | |
| 分野計画名称 | 教育振興基本計画 | | 行政経営戦略 参照ページ | P89 |

| | | | | | | |
|-------------|---|-------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 施策の展開（大項目） | 7 地域全体で教育に取り組む体制づくり | | | | | |
| KPI (指標) | 「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合（小中学校）【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値 (令和7年度) |
| | 増加 | 80.0% | — | 46.7% | 33.3% | 100% |

| | | | | |
|------------------------|--|--|--|-----|
| 中項目 | 1 学校・家庭・地域との連携強化 | | 分野計画参照ページ | P33 |
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 学校マネジメント支援事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・第三中学校を除く全小中学校で学校協議会を開催した。 ・市内全小中学校での学校運営協議会設置を見据え、モデル校として第三中学校を指定した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保護者や地域住民等と連携した学校運営に取り組むため、学校協議会を開催するとともに、市内小中学校での学校運営協議会設置に向け、モデル校の取組を周知する。 | |
| 地域学校連携活動支援事業 子育て支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・登校時の安全を確保するため、地域やPTAの方の協力を得ながら通学路等での見守り活動を実施した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き家庭、地域の方の協力のもと、学校、家庭、地域が連携しながら、安全・安心なまちづくりをめざして活動していく必要がある。 | |

| 中項目 | 2 子どもの安全見守り活動の充実 | | 分野計画参照ページ | P33 |
|---------------------------|---|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和4年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 安全対策事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の受付員を平日のほか、休日に実施される運動会時にも配置した。 ・こども安全巡視員による青色防犯パトロールカーでの防犯活動を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・受付員の配置及び青色防犯パトロールカーでの巡回等により、学校園への不審者侵入件数は0件であった。 ・令和4年度で廃止する青色防犯パトロールカーに代わる安全対策の実効性を高めていく必要がある。 ・受付員体制の見直しとあわせて、通用門のオートロック化等さらなる学校園への不審者侵入対策を講じる必要がある。 | | |
| スクールガード・リーダー配置事業 学校教育課 | <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における子どもたちの安全を確保するためスクールガード・リーダーを6名配置した。 ・登下校時の安全について、スクールガード・リーダーにヒアリングを行い、交通マナー等の児童の課題について対象校に伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全中学校区に登下校時を中心に校区を巡回するスクールガード・リーダーを配置し、PTAや、民生委員、自治会など、地域と一体となった見守り体制を構築することで、児童生徒の安全を守っていく。 ・各家庭や地域の方々と連携し、児童が自ら交通ルールを守る意識を高める必要がある。 | | |
| 地域子ども安全安心事業 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の啓発物品として新小学1年生の保護者に自転車の前かごカバーを配布した。 ・こども110番の家の協力者数は1,332件（前年度比-75件）となった。 ・見守りボランティアは13人（前年度比+3人）となった。 ・広報紙に、地域の見守り活動や見守りボランティアの募集に関する記事を掲載した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の家の登録件数を維持するとともに、子どもの安全見守りボランティアの登録者数を増やし、地域の子どもの安全対策に取り組む必要がある。 ・子どもの見守りシステムについて、先進市の取組事例や活用方法を参考に、導入に向けた検討を行う必要がある。 ・見守りボランティアの参加者増加に向け、引き続き、広報紙やホームページへの掲載等で活動の周知を行う。 | | |
| 小中学校通学区域等事業 教育政策課 | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路等交通安全プログラムに基づき、関係機関と協議を行い、通学路の危険箇所について、グリーン舗装や掲示板等の安全対策を行った。 ・市内25箇所交通専従員を配置し、登下校時の交通安全を確保するため、児童の見守り活動を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係課及び関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組む。 | | |